

「防災フェア」

「災害から命を守る岐阜県民運動に参加」

中日本ハイウェイ・パトロール名古屋
 中国ハイウェイ・メンテナンス名古屋
 名古屋支社 岐阜工務事務所 高山保全・サービスセンター

岐阜（工）と高山（保）では、10月11・12日に、高山市国府町のショッピングセンター駐車場の特設会場で開催された、岐阜県主催「防災フェア」に、グループ会社と連携して参加しました。

このフェアは「家族の命を守る防災対策」をテーマとして、8月末から岐阜県内の5カ所で行われています。

当社グループのコーナーでは、東海北陸道・白鳥IC（飛騨清見IC間の4車線化工事を通じて、災害に強い高速道路の建設、お客さまの安全を守る道路パトロールカーの役割、災害発生時の救助活動と復旧に必要な道を作るポータブルスロープなど、装備資機材について紹介しました。会場へ足をお運びいただいたお客さまには、高速道路事業への理解を深めていただけたと思います。

ほかの出展コーナーでは、岐阜県のマスコットキャラクター「ミナモ」が、紙芝居やゲームで防災について学ぶステージショーや、地震体験車による体験コーナーなど、防災対策につながる取り組みが行われていました。

今後も、関係機関や地域との連携強化を強め、有事の際に備えるとともに、災害に強い高速道路の建設・管理に努めていきます。



僕も今日からパトロール隊員です



道路が寸断されても「ポータブルスロープ」にお任せください

（高山（保） 金森幸弘）

制服のリサイクルで軍手を作り、ささやかに国際貢献

中日本エクストール横浜

エクストール横浜では、不用になった制服を軍手に再生し、利用しています。この軍手は主に、料金所での軽作業時に使用したり、交通安全啓発キャンペーン時にお客さまに配布したりするなどして活用していますが、一部は社会貢献活動の環としてNPO法人に寄付し、社会奉仕活動に役立てていただいています。

5月には「NPO法人道普請人」（理事長は京都大学の木村亮教授）によるケニアでの農道整備活動で、当社のリサイクル軍手が活用されました。

この整備活動は、農村社会開発と環境保全への貢献を目的として、簡単な技術と現地調達できる道具や材料を使って行うことができる「土の工法」を用いて実施されています。この工法を用いた道路整備は工学的に有効であるばかりでなく、「自分たちの道は自分たちで直せる」という自信とやる気を貧困に苦しむ人々から引き出している「道普請」であることから、ケニア、日本の両政府からも高い評価を得ています。

10月の「NPO法人沙漠緑化ナゴヤ」（理事長は太平洋基礎工業（株）の豊住満顧問）による中国・青海省での植樹活動にも軍手が活用されました。この活動は「地球に緑を」というスローガンを掲げ、将来の日中友好の架け橋になる事業として10年以上にわたり行われているもの



ケニアでの農道整備活動で軍手が活用されています



中国での植樹活動で軍手が活用されています

で、中国西部のはげ山を緑豊かな山に変え続けています。

これらの活動で、当社のリサイクル軍手は「使いやす」「滑り止めがついているのがよい」と、現地のかたがたから好評をいただくことができました。

日本の高速道路で働くスタッフの制服が軍手に生まれ変わり、世界をめぐる、遠い異国の道路の整備や砂漠の緑化に役立てられることは大変ありがたいことです。

この軍手は東名や中央道などの一部PAで販売しています。店頭でご覧になる機会がありましたら、NPO法人の皆さまの活躍と、これを支える当社のリサイクル軍手の奮闘ぶりに思いをはせていただければ幸いです。

※道路を直したり、建設したりすること

（総務部総務課 藤田義徳）



リサイクル軍手